**平成２９年度　笛吹市自動車騒音常時監視業務について**

　笛吹市内の自動車交通騒音の監視地域である幹線交通を担う道路に面する地域のうち、住居等が存在する区域について、表 I‑1の評価対象路線を調査し、自動車交通騒音の影響がおおむね一定と見なせる範囲を評価区間として分割し、それぞれの評価区間について面的評価を実施した。

表 I‑1　評価対象路線



**騒音に係る環境基準の地域評価結果（面的評価結果）**

笛吹市内の評価対象区間における、道路に面する地域に立地している住居等を対象に自動車騒音の常時監視として面的評価を行った。

## 環境基準の達成状況（全体評価：過年度を含む）

過年度を含む全体評価について、全体（7,678戸）では昼夜とも基準値以下は7,546戸（98.3%）、昼のみ基準値以下は25戸（0.3%）、夜のみ基準値以下は15戸（0.2%）、昼夜とも基準値超過は92戸（1.2%）となった。次に近接空間（3,111戸）では昼夜とも基準値以下は3,008戸（96.7%）、昼のみ基準値以下は14戸（0.5%）、夜のみ基準値以下は11戸（0.4%）、昼夜とも基準値超過は78戸（2.5%）となった。また、次に非近接空間（4,567戸）では昼夜とも基準値以下は4,538戸（99.4%）、昼のみ基準値以下は11戸（0.2%）、夜のみ基準値以下は4戸（0.1%）、昼夜とも基準値超過は14戸（0.3%）となった。

表 V‑1　対象区間の面的評価結果（過年度を含む）





図 V‑1　対象区間の面的評価結果（過年度を含む）

## 環境基準の達成状況（全体評価：本年度対象区間）

本年度対象区間の全体評価について、全体（1,957戸）では昼夜とも基準値以下は1,941戸（99.2%）、昼のみ基準値以下は15戸（0.8%）、夜のみ基準値以下は0戸（0.0%）、昼夜とも基準値超過は1戸（0.1%）となった。次に近接空間（865戸）では昼夜とも基準値以下は852戸（98.5%）、昼のみ基準値以下は12戸（1.4%）、夜のみ基準値以下は0戸（0.0%）、昼夜とも基準値超過は1戸（0.1%）となった。また、次に非近接空間（1,092戸）では昼夜とも基準値以下は1,089戸（99.7%）、昼のみ基準値以下は3戸（0.3%）、夜のみ基準値以下は0戸（0.0%）、昼夜とも基準値超過は0戸（0.0%）となった。

表 V‑2　対象区間の面的評価結果（本年度対象区間）





図 V‑2　対象区間の面的評価結果（本年度対象区間）

## 環境基準の達成状況（道路種類別評価：過年度を含む）

過年度を含む道路種類別評価は、「高速自動車国道」では、昼夜とも環境基準を達成した割合は99.1%、昼のみ基準値以下は0.0%、夜のみ基準値以下は0.0%、昼夜とも基準値超過は0.9%となった。「一般国道」では、昼夜とも環境基準を達成した割合は96.3%、昼のみ基準値以下は1.3%、夜のみ基準値以下は0.7%、昼夜とも基準値超過は1.6%となった。「都道府県道」では、昼夜とも環境基準を達成した割合は98.8%、昼のみ基準値以下は0.02%、夜のみ基準値以下は0.03%、昼夜とも基準値超過は1.1%となった。

表 V‑3　道路種類別の面的評価の結果





図 V‑3　道路種類別の面的評価の結果

## 環境基準の達成状況（路線別評価：過年度を含む）

　過年度を含む路線別評価において、昼夜とも環境基準を達成した割合の最も高い路線は、「一般国道411号」の100%の他12路線であり、最も低い路線は、「一般国道358号」の72.2%であった。また、昼夜とも基準値以下の割合別にみると90%台が「白井河原八田線」の99.9%を含む7路線、80台が「一般国道137号」の87.5%を含む2路線、70%台が「一般国道358号」の72.2%であった。

表 V‑4　路線別の面的評価結果





図 V‑4　路線別の面的評価結果